

APRESIA Systems メディアコンバーター

ApresiaLightMC(-PoE)シリーズ

Ver. 1.00.03

リリースノート

APRESIA Systems 株式会社

制定・改訂履歴表

No.	年 月 日	内 容
-	2020年5月29日	・新規制定
A	2020年9月30日	<ul style="list-style-type: none"> ・APLMC-10003-RC002 を追加 (標準 MIB の DOT3-OAM-MIB 対応) ・APLMC-10003-ER001 を更新 (APLMC-10004-RC016 で修正) ・PoE 給電対応製品の販売開始予定時期を変更

はじめに

ApresiaLightMC(-PoE)シリーズ 1.00.03 のファームウェアについて説明するものです。本ファームウェアに関する重要な情報が記載されていますので必ずお読みください。

リリースバージョン

今回リリースバージョン	1.00.03
前回リリースバージョン	-

適応機種一覧

シリーズ名称	製品名称
ApresiaLightMC シリーズ	ApresiaLightMC-SX
	ApresiaLightMC-LX
	ApresiaLightMC-BX20D
	ApresiaLightMC-BX20U
	ApresiaLightMC-BX40D
	ApresiaLightMC-BX40U
ApresiaLightMC-PoE シリーズ	ApresiaLightMC-SX-PoE (*)
	ApresiaLightMC-LX-PoE (*)
	ApresiaLightMC-BX20U-PoE (*)
	ApresiaLightMC-BX40U-PoE (*)

(*) 2020年10月販売開始予定

対応バージョン一覧表

各製品の対応バージョンを以下に示します。対象となる製品には、対応バージョン以外のファームウェアをダウンロードしないでください。

製品名称	対応バージョン
ApresiaLightMC-SX	ApresiaLightMC Ver. 1.00.03 以降
ApresiaLightMC-LX	
ApresiaLightMC-BX20D	
ApresiaLightMC-BX20U	
ApresiaLightMC-BX40D	
ApresiaLightMC-BX40U	
ApresiaLightMC-SX-PoE (*)	
ApresiaLightMC-LX-PoE (*)	
ApresiaLightMC-BX20U-PoE (*)	
ApresiaLightMC-BX40U-PoE (*)	

(*) 2020年10月販売開始予定

輸出する際のご注意

本製品は日本国内仕様であり、外国の規格等には準拠しておりません。本製品は日本国外で使用された場合当社は一切責任を負いかねます。また、当社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポート等は行っておりません。

商標一覧

Apresia は、APRESIA Systems 株式会社の登録商標です。

その他ブランド名は、各所有者の商標もしくは登録商標です。

APLMC Ver.1.00.03 リリース情報(2020年5月)

機能追加・修正について

このバージョンでは、以下の機能を追加・修正しております。

新機種対応

APLMC-10003-RC001

内容 下記の機種に対応しました。

- 関連
- ApresiaLightMC-SX
 - ApresiaLightMC-LX
 - ApresiaLightMC-BX20D, ApresiaLightMC-BX20U
 - ApresiaLightMC-BX40D, ApresiaLightMC-BX40U
 - ApresiaLightMC-SX-PoE (*)
 - ApresiaLightMC-LX-PoE (*)
 - ApresiaLightMC-BX20U-PoE (*)
 - ApresiaLightMC-BX40U-PoE (*)

(*) 2020年10月販売開始予定

機能エンハンス

サポート内容の詳細は、関連する「CLI マニュアル」、「SW マニュアル」、「ログ・トラップ一覧」、「MIB 項目の実装仕様」を参照ください。

APLMC-10003-RC002

内容 標準 MIB において、標準 DOT3-OAM-MIB をサポートしました。

関連 -

既知の問題について

このバージョンでは、以下の既知の問題があります。

既知問題

APLMC-10003-ER001

- 現象 アクセス制限機能において、接続を許可する端末の IP アドレスを本装置に設定し
TELNET または SSH で接続後、アクセス制限機能を無効にしてセッションを切断した後
も約 10 分間、コンソールポートから TELNET/SSH セッションが残っているように表示
される問題があります。
- 回避策 本事象の回避策はありません。
APLMC-10004-RC016 で修正しました。

ApresiaLightMC(-PoE)シリーズ
Ver.1.00.03 リリースノート
Copyright(c) 2020 APRESIA Systems, Ltd.
2020年5月 初版
2020年9月 第2版

APRESIA Systems 株式会社
東京都中央区築地二丁目3番4号
(築地第一長岡ビル8階)

<https://www.apresiasystems.co.jp/>